

令和5年産(4年播)麦生育情報 No.3 (R5.2.28)

(情報作成)滋賀県農業技術振興センター

(今回は3月下旬の予定)

滋賀県近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

1 気象経過と生育状況

① 気象の経過 (彦根气象台、平成25～令和4年の平均値との比較)

期間	要素	平均気温	日照時間	降水量
1月	上旬	平年並	少ない	やや少ない
	中旬	高い	多い	やや少ない
	下旬	かなり低い	やや少ない	少ない
2月	上旬	やや高い	平年並	平年並
	中旬	やや高い	やや少ない	やや少ない

注) 平均気温 <±0.5℃:平年並、±0.5～1.0℃:やや高い(低い)、±1.0～2.0℃:高い(低い)、±2.0℃<:かなり高い(低い)
日照時間 <±5hr:平年並、±5～10hr:やや多い(少ない)、±10～15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)
降水量 <±10mm:平年並、±10～20mm:やや多い(少ない)、±20～30mm:多い(少ない)、±30mm<:かなり多い(少ない)

② 生育状況【農業技術振興センター麦類作況調査(2月16日現在)より】

- 今作は3品種とも草丈長く、分けつ少ない傾向にある。
- 「農林61号」は平年に比べ、莖数はやや少なく、草丈は長く、葉数は0.3枚多い。
- 「ふくさやか」は平年に比べ、莖数はやや少なく、草丈は長く、葉数は0.4枚多い。
- 「びわほなみ」は平年に比べ、莖数は少ないが、「農林61号」と同程度である。また、草丈はやや長く、葉数は0.2枚多い(表1、後掲グラフ)。
- 葉齢の進展程度から見た各品種の生育は、1月16日時点で平年より約2週間早かったものの、2月16日時点では平年との差が縮まってきている。

表1 令和5年産(4年播)麦類作況調査の結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種名	年次	1/16 調査			2/16 調査		
		莖数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	莖数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉数 (枚)
農林61号	R4年産 (平年比)	752 (114)	26.6 (139)	5.4 (+0.4)	680 (93)	29.0 (127)	6.4 (+0.3)
	平年値	658	19.2	5.0	729	22.8	6.1
ふくさやか	R4年産 (平年比)	636 (108)	24.8 (136)	5.9 (+0.8)	614 (93)	27.7 (126)	6.6 (+0.4)
	平年値	590	18.2	5.1	662	22.0	6.2
びわほなみ	R4年産 (平年比)	744 (87)	21.7 (121)	5.9 (+0.6)	678 (73)	25.4 (108)	6.9 (+0.2)
	平年値	855	17.9	5.3	931	23.6	6.7

※播種日は、令和4年11月5日。※播種様式は条播(条間25cm)、播種量は8kg/10a。

※平年は平成25～令和4年産(平成24～令和3年播)の10年間の平均値。

※「びわほなみ」の平年は平成28,30年～令和4年産(平成27,29年～令和3年播)の6年間の平均値。

☆2月16日現在の小麦の生育状況(農技センター作況調査)



「農林61号」



「ふくさやか」



「びわほなみ」

2 県内の状況

- 1月第5半旬～2月第1半旬の気温が低く、分けつは緩慢になっている。
- 生育が進んでいるほ場では、茎数の増加は止まっている。

3 今後の管理

(1) 追肥(穂肥)

①速効性肥料の分施肥体系(基肥—追肥—**穂肥**—実肥)の場合

- 穂肥は2月下旬～3月上旬に施用する。
- 茎数が少ないほ場では、有効茎歩合を高めるために、早めに穂肥を施用する。
- 農林61号で茎数が多い場合は、過剰分けつを抑制するために、施肥量をやや減量し、生育の調整を図る。

②基肥一発体系の場合

- 基肥一発肥料(緩効性肥料)を施用している場合でも極端に葉色が落ちているところは、3月上旬までに窒素成分で2kg/10aを限度に追肥する。

③融雪後の施肥

- 分施肥体系(上記①の場合)で、積雪のため穂肥が施用できなかったほ場は、融雪後、なるべく早く穂肥を施用する。

○融雪後に追肥や穂肥を施用する場合は、地表面に溜まった融雪水を排水したのちに実施する。

(参考) 平年の穂肥施用の考え方 (速効性肥料の分施体系の場合)

品 種	穂肥の施用基準		備 考
	施用時期	穂肥量 (kgN/10a)	
農林61号	2月下旬～3月上旬	2～3 kg	葉色が淡いまたは茎数が少ない場合は、基準の範囲内で早める。
ふくさやか	2月下旬～3月上旬	4 kg	
びわほなみ	2月下旬	4 kg	

※農林61号では、施用時期の茎数の目安は700本/㎡で、多ければ穂肥量を少なめとする。

(2) 排水対策

○融雪水などの滞水による排水不良は、根の伸長が不十分となって登熟不良にもつながるため、溝に水がたまったままの状態にならないよう、溝さらえを行うなど徹底した排水対策を講じる。

【参考サイト】

農業技術振興センター <http://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/>

病虫害防除所 <http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/>

彦根地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/hikone/>

早期天候情報 <https://www.data.jma.go.jp/cpd/souten/>

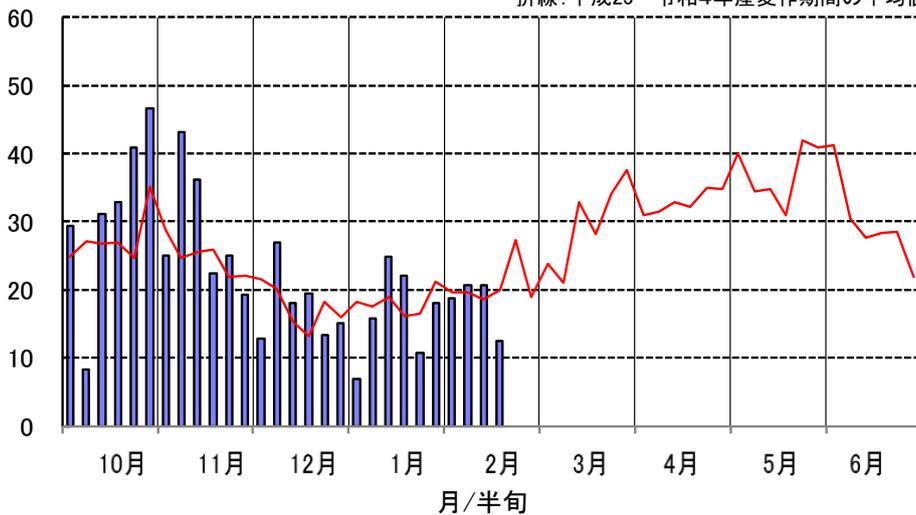
令和5年産(令和4年播) 麦作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)

(°C) 【気温の推移(最高気温、最低気温)】 — 本年(令和5年産)
 — 平成25~令和4年産麦作期間の平均値



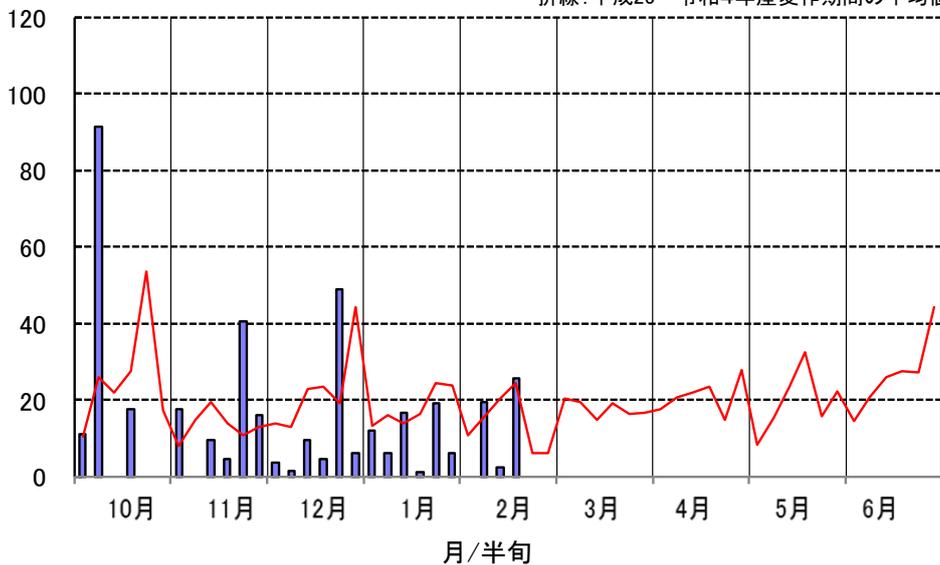
(hr) 【日照時間の推移】

棒線: 本年(令和5年産)
 折線: 平成25~令和4年産麦作期間の平均値



(mm) 【降水量の推移】

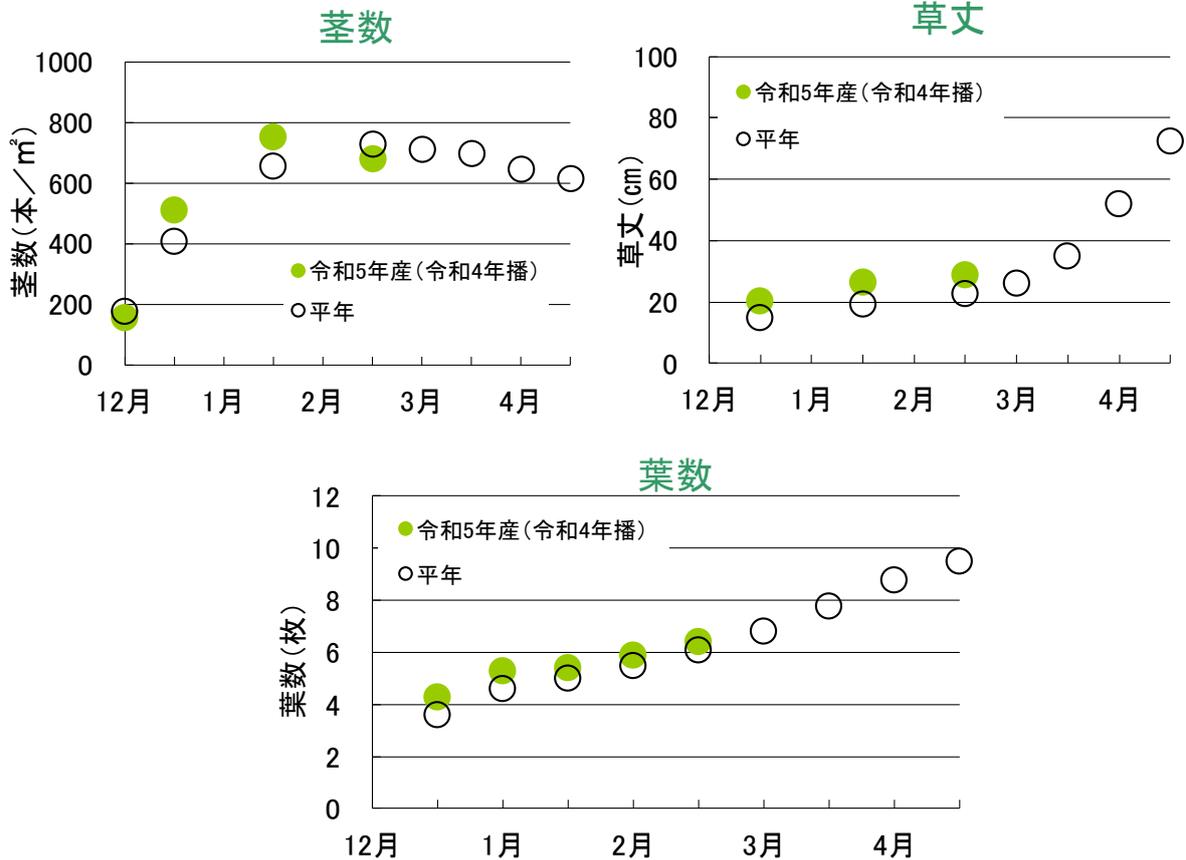
棒線: 本年(令和5年産)
 折線: 平成25~令和4年産麦作期間の平均値



令和5年産生育調査結果(1)

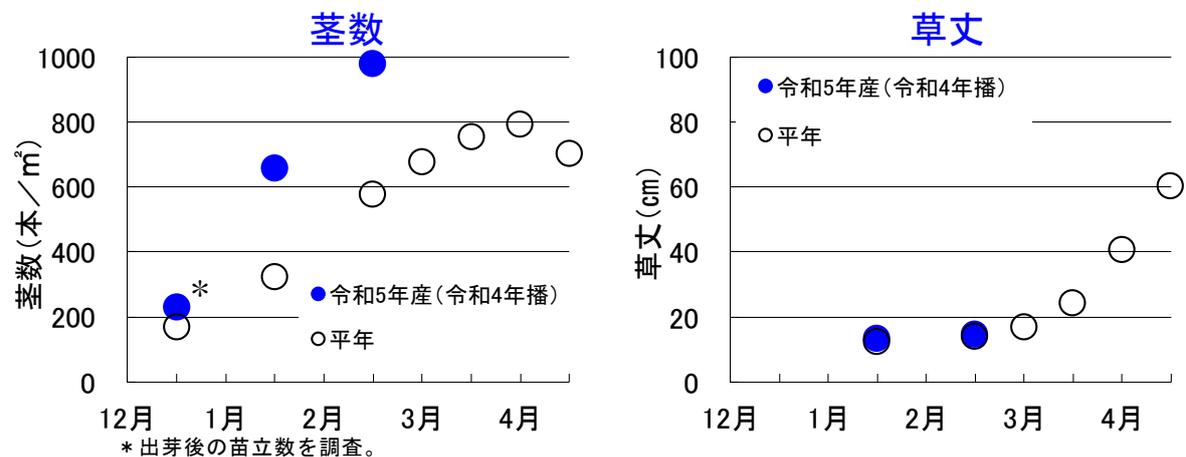
「農林61号」

令和4年11月4日播



(参考)

令和4年11月18日播

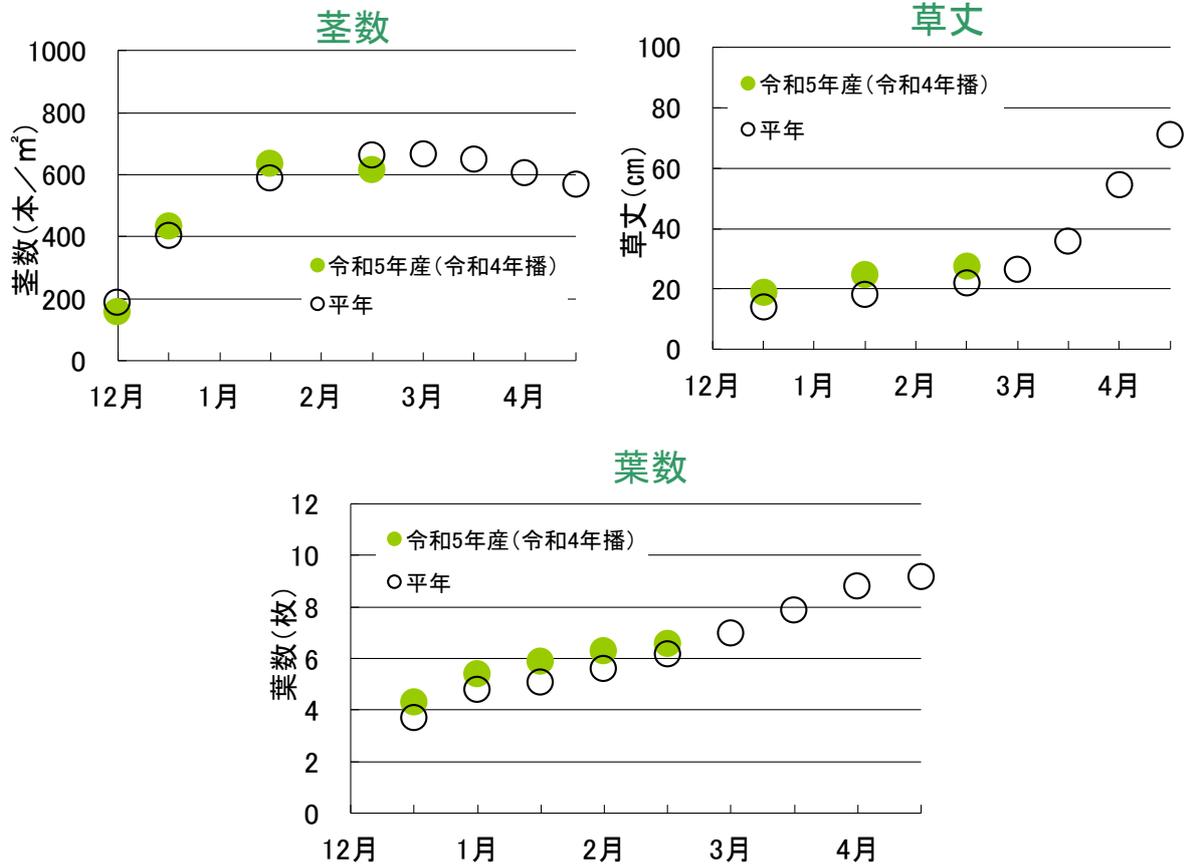


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成25～令和4年産(平成24～令和3年播)の10年間の平均値。

令和5年産生育調査結果(2)

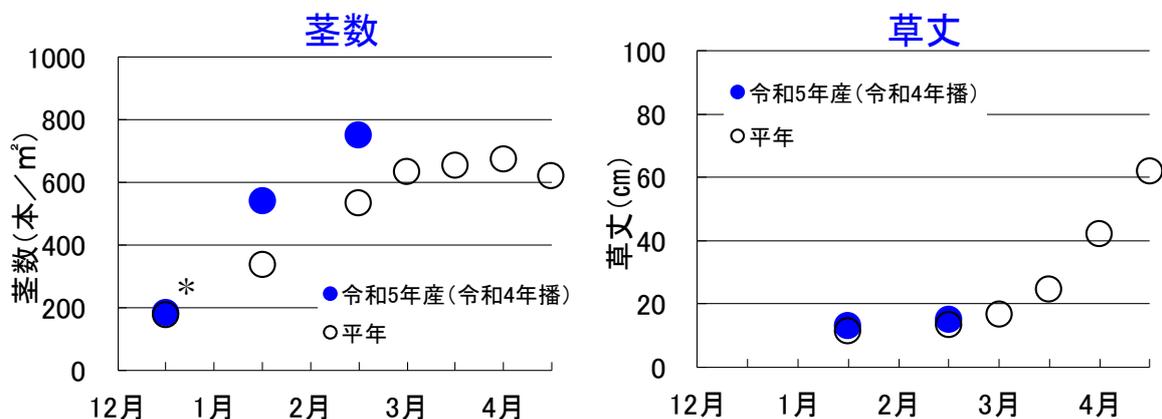
「ふくさやか」

令和4年11月4日播



(参考)

令和4年11月18日播



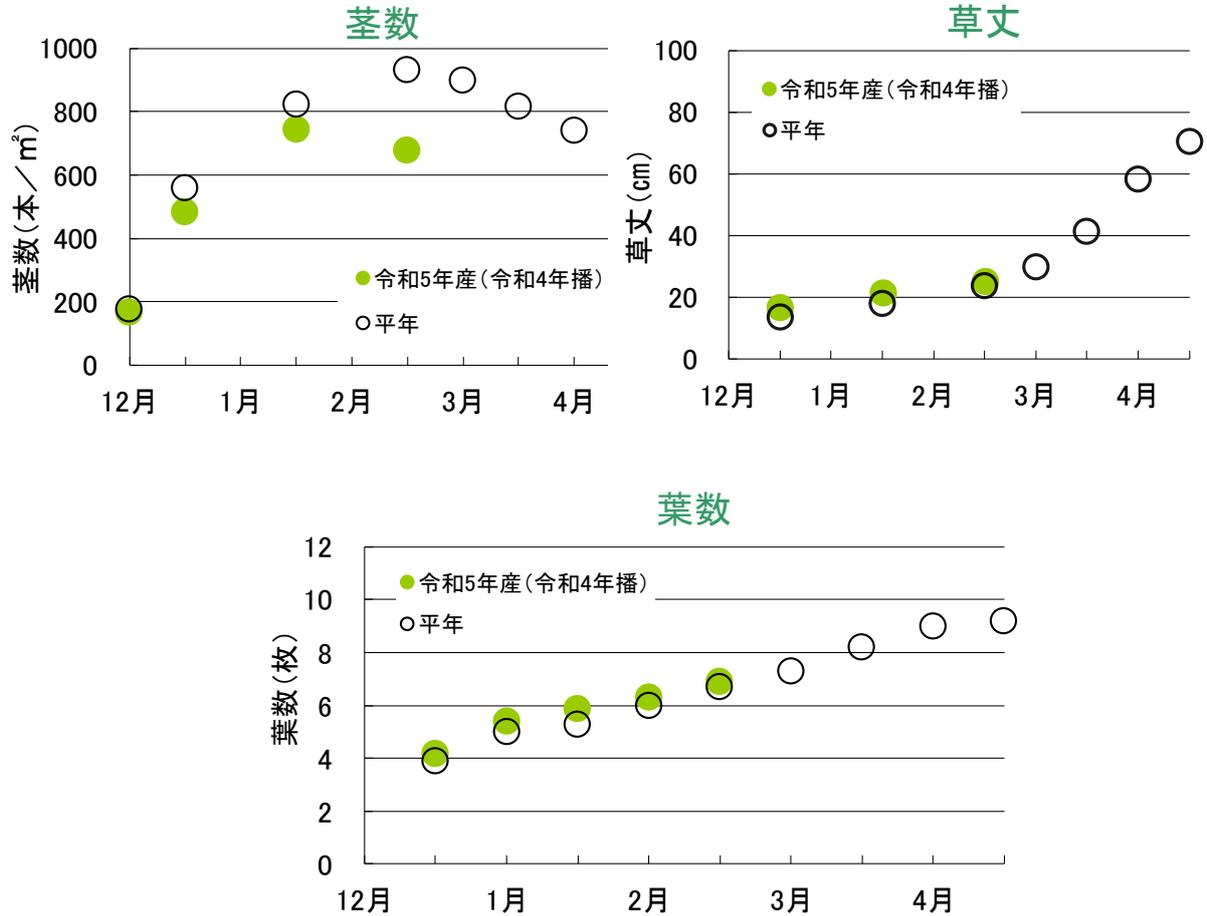
* 出芽後の苗立数を調査。

※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成25～令和4年産(平成24～令和3年播)の10年間の平均値。

令和5年産生育調査結果(3)

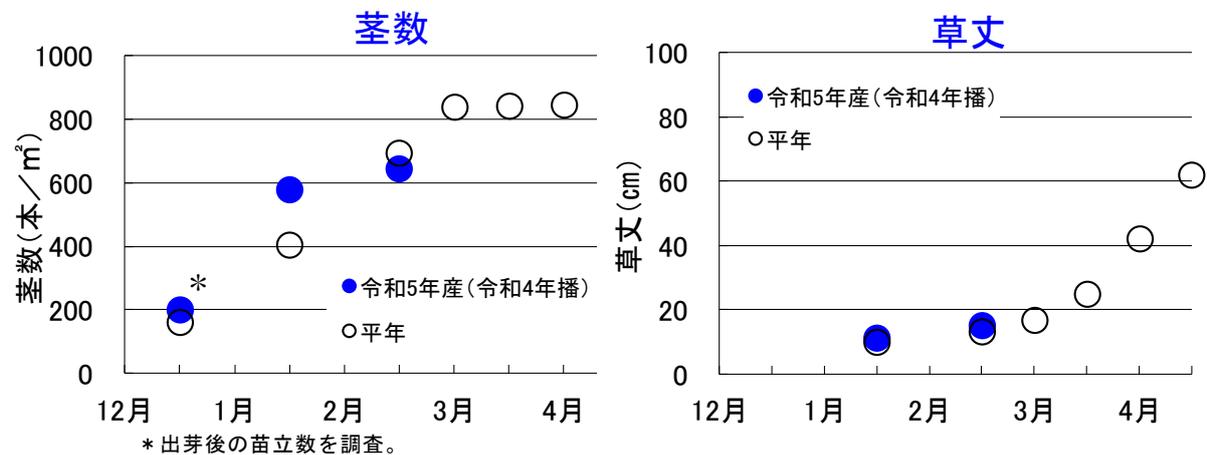
「びわほなみ」

令和4年11月4日播



(参考)

令和4年11月18日播



※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28.30～令和4年産(平成27.29～令和3年播)の6年間の平均値。